

(2) 「施策」、「選択・集中プログラム」、「行政運営」の達成状況

56の施策について、最終年度の実績を数値目標で見ると、目標値を達成したものは28(50%)となりました。平成27年度の進展度で見ると、「進んだ」または「ある程度進んだ」と評価する施策は、55※施策のうち51施策(93%)となっており、おおむね順調に進んだと考えています。

16の選択・集中プログラムについて、最終年度の実績を20の数値目標で見ると、目標値を達成したものは10(50%)となりました。平成27年度の進展度で見ると、「進んだ」または「ある程度進んだ」と評価するプログラムは16プログラムのうち14プログラム(88%)となっており、一定の課題解決につながりました。

8の行政運営については、目標値を達成した数値目標は6(75%)、「進んだ」または「ある程度進んだ」と評価する行政運営は7(88%)となりました。

※ 施策253『『美し国おこし・三重』の新たな推進』は平成26年度で終了したため、平成27年度の評価対象の施策数は55になります。

目標の達成状況は、以下のページの「数値目標等一覧」をご覧ください。

- ・ 施策の達成状況：47ページ～51ページ
- ・ 選択・集中プログラムの達成状況：275ページ～276ページ
- ・ 行政運営の達成状況：354ページ

(3) 施策の総括（4年間の取組をふまえた成果と課題）

■ I 「守る」～命と暮らしの安全・安心を実感できるために～

1 1 1 防災・減災対策の推進（防災対策部）

南海トラフ地震をはじめとする地震や、近年増加傾向にある局地的大雨等の災害から県民を守るため、地域防災計画を見直すとともに、「三重県新地震・津波対策行動計画」および「三重県新風水害対策行動計画」を策定し、計画に基づく総合的な防災・減災対策を推進した結果、防災活動に参加する県民の割合は47.4%に増加しましたが、平成27年度の目標はわずかに達成することができませんでした。

東日本大震災を契機に高まりが見られた県民の皆さんの防災意識は、震災発生から5年あまりが経過する中で徐々に低下傾向にあり、今後も引き続き、「みえ防災・減災センター」による防災人材の育成・活用や防災教育の充実に取り組むとともに、三重県版タイムライン（仮称）の策定など、計画に掲げた行動項目の着実な実践に取り組み、「自助」、「共助」、「公助」が一体となった「防災の日常化」の定着に向けた取組を進める必要があります。